

お知らせ

令和7年(2025年)2月27日

## 第70回前島密賞 受賞者決定について

本日15時に公益財団法人通信文化協会が、報道資料「第70回前島密賞 受賞者決定について」を、総務省記者クラブ及び日本郵政株式会社記者クラブに配布しております。

テレコムサービス協会関係業務では、下記のとおり受賞の栄誉に浴しました。

### 前島密賞(個人): 鈴木 喜晴 氏

(一社) テレコムサービス協会副会長(理事)、同近畿支部会長  
スターネット(株)取締役会長

#### [功績]

**ICTを通じて地域活動を活性化させ、ネットワークサービスの提供に寄与するなど我が国の情報通信事業の普及・発展に貢献**

スターネット(株)創業時から参画し、広域ネットワークと運用資源の共同利用を目的とした新しいビジネスモデルの育成及び運用による情報化促進などに貢献した。また、協会活動では、近畿方式とされる会長会社と運営会社の連携方式を独自に確立したほか、協会副会長等としてICTを通じた地域経済の活性化に貢献した。

### 前島密賞 奨励賞: 山田 敏雅 氏

(株)USEN NETWORKS (U-NEXT. HD) 取締役副社長  
(一社) テレコムサービス協会 FVNO 委員会委員長

#### [功績]

**FVNOにおける業界の課題解消や運用改善の取組みによるICT市場の活性化及び利用者利便の向上に貢献**

(株)USEN NETWORKS (U-NEXT. HD) に入社以降、事業設計を担当し、光回線の卸売サービス開始を見据え、社内プロジェクトによる早期なサービス開始を実現した。また、FVNO 委員会委員として総務省との調整や業界課題の解決等の他、消費者トラブルの縮減に多大に貢献した。

今後も ICT 市場の活性化や利用者利便の向上に貢献することが期待される。

#### [参考]

公益財団法人通信文化協会の報道資料(抜粋)を次ページ以降に添付しました。

参照 <https://www.tsushinbunka.org/award/>

(担当) 一般社団法人テレコムサービス協会事務局 正村 電話 03-5644-7500

## 報道資料

### 第70回前島密賞 受賞者決定について

公益財団法人通信文化協会では、第70回（令和6年度）の前島密賞の受賞者を別紙のとおり決定しました。贈呈式は、4月10日（木）に行います。

#### 記

#### 1 前島密賞の趣旨等

前島密賞は、逓信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年（1955年）に設けられたもので、以降毎年度、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の進歩発展に著しい功績のあった者に贈呈しています。

また、第66回より、新たに「奨励賞」を創設し、情報通信・放送分野において活躍し、今後もなお一層の功績が期待される者に贈呈しています。

情報通信・放送は、社会経済活動や日常生活はもとより非常災害時においても欠かすことのできない重要なインフラであり、コミュニケーションツールです。通信の役割が益々重要になってきており、大量の情報が取り扱われています。一方、セキュリティ対策も大きな課題となっているところです。

このような状況の中、今回は、通信サービスの提供の維持・発展、情報通信技術と脳機能科学の融合研究、情報通信インフラを支える通信システムの高速度・大容量化や次世代放送の実現に向けた技術開発のほか、「情報から誰一人取り残されない社会」の実現に向けた取り組みなど、時代の要請にかなった功績となっております。

通信文化協会は、引き続き通信・放送文化の発展のために取り組んでまいります。

#### 2 受賞者の概要

##### (1) 前島密賞

16件 28名 2団体

- ① 情報通信・放送分野において、長年に亘り多大な功績のあった者、先駆的な研究開発を行った者など。
- ② 通信・放送の提供や維持に貢献があった者、地域のインフラとして地域貢献に資する功績があった者など。

なお、副賞として、元日展理事、日本芸術院賞・恩賜賞受賞 高橋剛氏作のメダル（ただし、共同研究・共同行為・団体による受賞者は金一封）を贈呈します。

##### (2) 奨励賞

4件 5名

- ① 若手経営者として活躍している者、現場の第一線で活躍している者。
- ② 先駆的な研究開発を行った者。

なお、副賞として、前島密賞のメダルの意匠を入れた楯を贈呈します。

### 3 選考要領

毎年、当該年度の実施要領に示す推薦機関から受賞候補者の推薦を受け、選考委員会の議を経て理事会で決定します。

### 4 贈呈式

- (1) 日時  
令和7年4月10日(木) 午前11時00分
- (2) 場所  
KKRホテル東京  
(千代田区大手町1-4-1)

### 5 協会の定款及び前島密賞規程

- 公益財団法人通信文化協会 定款 第3条  
本法人は、郵政博物館の運営、前島密賞の贈呈、通信文化の普及・発展等に関する事業を行い、もって我が国の手紙等文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上に寄与することを目的とする。
  
- 前島密賞規程(抄)  
第2条 前条の賞は、前島密賞及び奨励賞とし、それぞれ次の各項に該当する者に贈る。
  - 2 前島密賞  
情報通信・放送に関わる次の各号ごとに、特段の功績があったと認められる者。
    - (1) 情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者
    - (2) ICT(情報通信テクノロジー)に係わるイノベーションを発案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者
    - (3) ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し、顕著な功績があった者
  - 3 奨励賞  
情報通信・放送分野において、現に活躍するとともに実績を上げており、今後もなお一層の功績が期待される者。

[連絡先]	公益財団法人通信文化協会 前島密賞事務局 小林 〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16 TEL : 03-5809-7148
-------	--

1 第70回(令和6年度)前島密賞受賞者一覧

推薦10機関 16件 28名・2団体

(敬称略、略歴は推薦時)

推薦機関	受賞者名	功績対象	功績概要(推薦調書功績タイトル)	主な職歴等
1 総務省	① (故) 田口 隆久	2号 個人	情報通信技術と脳機能科学の融合研究の推進と社会展開	元国立研究開発法人情報通信研究機構 未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター 研究統括
	矢野 博之	2号 共同研究	NOTICE 事業の推進によるIoTセキュリティ向上への貢献	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事
	笠間 貴弘			国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティ研究室 室長
	井野 毅也			国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオペレーションセンター
	井上 大介			国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 研究部長
衛藤 将史	国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所 ナショナルサイバーオペレーションセンター 研究センター長			
2 日本郵政(株)	① 山本 利郎	1号 個人	郵便局における地域活性化施策の展開による地域社会における郵便局の役割向上への貢献	元日本郵便(株)金沢扇町郵便局長 元主幹地区統括局長
	② 長尾 善文	1号 個人	卓越した指導力と強いリーダーシップを発揮し、東海管内における郵便事業基盤の構築に貢献	元郵便事業(株)名古屋支店長
	③ 三島 由美	1号 個人	豊富な知識と経験に基づく統率力・指導力により、郵便事業の収益の確保や業務の効率化による生産性向上に加え、ダイバーシティ推進に貢献	元日本郵便(株)福岡中央郵便局長
3 日本電信電話(株)	① 宇治 則孝	1号 個人	情報通信事業の発展に資する功績	元日本電信電話(株) 代表取締役副社長
	② 李 斗煥	2号 個人	OAM-MIMO無線多重伝送技術の研究開発	日本電信電話(株) 未来ねっと研究所 上席特別研究員
	③ 井上 雅広	2号 共同研究	S帯LTE over Satellite衛星移動通信システムの開発・実用化	(株)NTTドコモ NTN推進室 室長
				(株)NTTドコモ ネットワーク部 担当部長
丹野 元博	(株)NTTドコモ プロダクト技術部 担当部長			
4 日本放送協会	① 飯野 奈津子	3号 個人	テレビ業界で女性が記者として活躍する土壌づくりに貢献し、ジャーナリズムの発展に資する功績	元日本放送協会 解説主幹
	② 竹内 知明	2号 共同研究	次世代地上放送の無線伝送方式の研究開発	日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部副部長
				日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部副部長
				日本放送協会 技術局 計画部 チーフ・エンジニア
				日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部 主任研究員
朝倉 慎悟	日本放送協会 放送技術研究所 研究企画部			
5 (一社)電気通信事業者協会	堀内 俊治	2号 共同研究	「新音楽視聴体験 音のVR」アプリの開発と実用化	(株)KDDI総合研究所 先端技術研究所 XR部門 シニアエキスパート
	大久保 翔太			(株)KDDI総合研究所 先端技術研究所 XR部門 XR空間表現グループ コアリサーチャー
	片岡 大記			(株)kand production 代表取締役 (株)Qdot kand production 代表取締役
	宮崎 清志			KDDI(株) 渉外・コミュニケーション統括本部 ブランド・コミュニケーション本部 ブランドマネジメント部 戦略グループ グループリーダー
	新井田 統			(株)KDDI総合研究所 KDDI research atelier シンクタンク部門 デザインリサーチグループ グループリーダー
6 (一財)日本ITU協会	宮寺 好男	3号 個人	ITU、APT、IMO等の国際機関における海上無線通信技術の標準化推進・牽引	日本無線(株)マリンシステム事業部 企画推進部 専門部長
7 日本民間放送連盟	岡山放送株式会社	3号 団体	手話放送を通じた共生社会実現に向けた取り組み	代表: 中静敬一郎(岡山放送(株)代表取締役社長)
8 (一社)テレコムサービス協会	鈴木 喜晴	1号 個人	ICTを通じて地域活動を活性化させ、ネットワークサービスの提供に寄与するなど我が国の情報通信事業の普及・発展に貢献	(一社)テレコムサービス協会副会長(理事)、同近畿支部会長 スターネット(株)取締役会長
9 (一社)電波産業会	(株)国際電気 90GHz帯滑走路面異物検知システム実用化プロジェクト	2号 団体	90GHz帯滑走路面異物検知システムの開発と実用化	代表: 加島 謙一 (株)国際電気プロダクト本部製品開発第二部・副技師長
10 (一社)日本ケーブルテレビ連盟	松本 正幸	1号 個人	ケーブルテレビ事業の拡大を通じ、業界振興と放送のデジタル化推進に貢献	元(株)ジェコムエスト 代表取締役社長 元(一社)日本ケーブルテレビ連盟 副理事長兼専務理事

功績欄: 1号は「前島密賞規程第2条第2項第1号」(事業業績) 6件 6名  
2号は「前島密賞規程第2条第2項第2号」(研究開発) 7件 20名 1団体  
3号は「前島密賞規程第2条第2項第3号」(文化振興) 3件 2名 1団体

個人 10件 10名  
共同 4件 18名  
団体 2件 2団体  
合計 16件 28名 2団体

2 第70回(令和6年度)前島密賞・奨励賞受賞者一覧  
 推薦4機関 4件 5名

(敬称略、略歴は推薦時)

推薦機関	受賞者名	対象	功績概要(推薦調書功績タイトル)	主な職歴等
1 日本郵政(株)	おおわ まこと 大和 誠	個人	集配担当者として、交通安全への取組み「ゆずる運転」を提唱・推進することにより地域住民へ変わらぬユニバーサルサービスを提供	日本郵便(株)松本南郵便局集配営業部課長
2 日本電信電話(株)	ひらき たつろう 開 達郎	個人	異種材料集積技術を用いた高性能光デバイスの研究開発	日本電信電話(株) 先端集積デバイス研究所 特別研究員
3 (一社)電気通信事業者協会	いしむら しょうた 石村 昇太	共同研究	フォトニック結晶レーザーの宇宙光通信適用に向けた研究開発	(株)KDDI総合研究所 先端技術研究所 光部門 フォトニクスイノベーショングループ コアリサーチャー
	もりた りょうへい 森田 遼平			東北大学大学院工学研究科助教
4 (一社)テレコムサービス協会	やまだ としまさ 山田 敏雅	個人	FVNOにおける業界の課題解消や運用改善の取組みによるICT市場の活性化及び利用者利便の向上に貢献	(株)USEN NETWORKS(U-NEXT.HD) 取締役副社長 (一社)テレコムサービス協会 FVNO委員会委員長

個人	3件	3名
共同	1件	2名
合計	4件	5名

### 3 第 70 回(令和 6 年度) 前島密賞 受賞者 功績

(敬称略、所属・職歴は推薦時)

#### 8 一般社団法人テレコムサービス協会推薦

[個人：功績 1 号]

鈴木 喜晴	(一社) テレコムサービス協会 副会長 (理事) 近畿支部会長 スターネット株式会社取締役会長 ・ 2024 年度 (一社) テレコムサービス協会 (設立 30 周年記念行事) 功労者表彰 (個人)
<p>【ICTを通じて地域活動を活性化させ、ネットワークサービスの提供に寄与するなど我が国の情報通信事業の普及・発展に貢献】</p> <p>スターネット(株)創業時から参画し、広域ネットワークと運用資源の共同利用を目的とした新しいビジネスモデルの育成及び運用による情報化促進などに貢献した。また、協会活動では、近畿方式とされる会長会社と運営会社の連携方式を独自に確立したほか、協会副会長等としてICTを通じた地域経済の活性化に貢献した。</p>	

1986 年 4 月、スターネット(株)の創業メンバーとして参画し、広域ネットワークと運用資源の共同利用を目的とした新しいビジネスモデルによる情報化促進などに貢献し、1993 年に日本で初めてフレームリレーサービス『STAR-FRAME』の提供、1994 年にはインターネット接続サービス (ISP サービス) 『STAR-Internet』を提供開始する等、最新技術を活用したサービス提供に取り組んだ。

2000 年代以降、技術、営業、総務の部門長を経て、2017 年から代表取締役社長に就任したものであるが、この間、ビジネスモデルを改め、企業ネットワークインフラに関するセキュリティを始めとする諸問題点の調査、コンサルティング、グランドデザインから構築、運用に至るまで、お客様の立場に立ち、お客様のニーズにマッチした様々なソリューションをオールラウンドに組み合わせた提案構築運用サポート体制を構築し、推進するなど、技術変化の激しいネットワーク分野において、お客様に適した最新のソリューションを提供することによって、ビジネスユーザ各社のネットワークとネットワークセキュリティの安定運用に尽力した。

協会での地方支部活動については、会社を挙げて近畿支部事務局の運営に尽力し、特に会長会社と支部運営方式に関して近畿方式とされる会長会社及び地方支部運営会社の連携方式を独自に確立するなど、全国に 11 設置している地方支部事務局会員会社及び地方支部会長の規範となる活動を継続実施している。

また、(一社) テレコムサービス協会副会長、理事及び近畿支部会長に就任後は、ICTの普及に関する活動を行い、ICTを通じて地域経済を活性化させ、我が国の経済を拡大させるなど、情報通信事業の普及・発展に多大な貢献をしている。

## 4 第70回(令和6年度)前島密賞 受賞者 功績

### 《 奨励賞 》

(敬称略、所属・職歴は推薦時)

#### 4 一般社団法人テレコムサービス協会推薦

[個人]

山田 敏雅	株式会社 USEN NETWORKS (U-NEXT. HD) 取締役副社長 (2020 年) (一社)テレコムサービス協会 FVNO 委員会委員長 (2021 年)
<p>【FVNOにおける業界の課題解消や運用改善の取組みによるICT市場の活性化及び利用者利便の向上に貢献】</p> <p>(株)USEN NETWORKS (U-NEXT. HD) に入社以降、事業設計を担当し、光回線の卸売サービス開始を見据え、社内プロジェクトによる早期なサービス開始を実現した。また、FVNO 委員会委員として総務省との調整や業界課題の解決等の他、消費者トラブルの縮減に多大に貢献した。</p> <p>今後も ICT 市場の活性化や利用者利便の向上に貢献することが期待される。</p>	

(株)USEN NETWORKS (U-NEXT. HD) に入社以降、事業設計(事業計画・商品企画・運用など)を担当し、光回線の卸売サービス開始を見据え、社内にプロジェクトを設置し、早期サービス開始の実現、法人の光回線マーケットのシェア拡大などに貢献している。

2015年のNTT東西による光回線の卸売サービスの開始に伴い、電気通信市場における競争を促進し、サービスの多様化、料金の低廉化等を促進することを目的として設置されたテレコムサービス協会 FVNO 委員会の創設時からの主要メンバーとして総務省との調整を始め業界課題の解決にも尽力し、競争の活性化及び利用者利便の向上等に寄与してきた。

2017年総務省の「光サービス利用者が他の事業者に変更する際、IP電話番号の継続利用実現を検討すべき」との要請により、FVNO委員会内に「番号移行関係タスクフォース」が設置され、その委員として、総務省ほか関係機関と議論を重ね、光サービス利用者のIP電話番号の継続利用の実現に貢献した。

全国の光コラボ事業者の営業活動による消費者トラブル対応のため、2017年にFVNO委員会内に「消費者関係タスクフォース」を設置し、初代主査として「光コラボの消費者保護に関するマニュアル・ツール」を策定したほか、2019年及び2020年にNTT東西を經由し全コラボ事業者(約780社)及び販売代理店に展開することで、消費者トラブルの縮減に大きく貢献を果たした。

今後もFVNO委員会の主要メンバーとして、業界課題の解消を目指すとともに、サービス卸に係る運用改善に向けた取り組み等により、利用者料金の低廉化及び利用者利便の向上等ICT市場の活性化などさらなる功績が期待される。